

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		地域の方との挨拶や言葉を交わす機会を多くもち、回覧板や市の広報等で情報を知り、できる所は協力し、箱田のホームを広く認識して頂き、地域に密着したホームを目指す。	入所者と挨拶のおり、地域の方々に、積極的に挨拶や、声掛けをして、ホームの存在を知って頂き、関心をもって頂く。自治会長さんに運営推進会議に出席して頂くようお願いし、災害時の協力を呼びかけていきたい。	地域の回覧に目をとおし、ゴミ当番は、職員が進んで行き、周辺の散歩等で、庭を見せて頂いたり、挨拶や言葉をかわし、粗品をもって挨拶回りをしたりして箱田のホームの存在を知って頂く努力をした。又、運営推進会議では、民生委員さんに地域の方に、気軽にホームに遊びに来ていただくよう話している。又新しく出来た、東の施設と合同に夏祭り等の行事を楽しみ、地域の方や子供達にも参加して頂き、一緒に行事の楽しみをもつ機会をもつ。	6ヶ月
2		高齢の方が多いため、日々の健康状態やバイタルを記録し、三食の食事をしっかり取り、水分補給等まめに行い、昼間は活動して頂く為、ホームのレクや行事や周辺の散歩等でメリハリのある生活を行い、毎日のホール歩行練習や体操等で筋力低下の予防を図る。	転倒のリスクを防止する為、レクリエーションやホーム周辺に散歩等で、活動量を多くして、夜間ゆっくり休んで頂く。ホール歩行やリハビリ体操で筋力低下を予防する。又、三食の食事をしっかり取り、昼夜の薬のみなおしや調節を行い健康で生活できる。	職員の見守りの中、安全に留意して手拍子や音楽をかけて、ホール歩行練習を行い、歩行器等押したり、歩ける方は自立歩行で、各自の体調にあわせて毎日行っている。又リハビリ運動やラジオ体操等で、体を動かして頂き、車椅子からソファーや椅子に移乗の機会を多くとり、体力低下の予防を心がけている。各往診時は主治医や家族等に相談しながら、専門医に受診したり、薬が適当か副作用はないか検討しながら、個人個人にあわせて服用するよう取り組んでいる。又天候の良い日で、体調等に合わせたホーム散歩を取り入れている。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。